

世界社会奉仕活動報告

羽衣ロータリークラブ

『フィリピンの小さな島で医療奉仕活動

メディカルミッションへ参加』

メディカルミッションとは、フィリピン パナイ島・パンダンで、貧しくて病院に行けない患者の為に、手術や治療を無料で行う医療奉仕活動です。毎年4月に1週間、もう20年近く続けられています。

マカティメディカルセンターの医師たちが中心となって活動しています。

この話が持ち上がったのは、2月の初めでした。クラブで相談いたしました結果、即座に賛成を頂き、世界社会奉仕活動の一環として参加することになりました。

クラブ理事会(2月24日)で承認され、3月10日の例会で発起人の説明を行い、エンジニアの上田会員と、国際奉仕委員長であり、歯科医の今岡が活動に直接参加することになり、奉仕方針、クラブ寄付金、自主寄付金、と詳細が決まりました。医療器械や器機が不足していますので医薬品や、器具も出来るだけ集めました。

二人の参加者は、4月2日関西空港出発、マニラにて1泊、翌日マニラ空港国内線でパナイ島。。。空港着、陸路1時間30分、パンダン市(医療活動拠点)に到着、4月4日~6日の奉仕活動、7日朝、マニラ空港、マニラ空港発~関西空港着、6日間の行程で行ってまいりました。

各部門の医師たちによる、奉仕活動は、そのすべてを(医療機器の大部分、医薬品の全て、宿泊費(現地の篤志家)アクセス、等)Dr."BOB" がリーダーとなって調達し、その規模は医師たち、看護師を加えて総人数、55名からなるもので、その一つとして我々の羽衣ロータリークラブも参加させてもらいました。又、マニラロータリークラブもこの活動に協力されておりました。

医療を施す医師たちは、その劣悪な環境の中で、朝の8時から、夕方7時(一部は夜の8時9時まで)頃まで、3日間働き続けます。まさに、野戦病院であります。

一方、村人たちは、はるばる10~20キロメートル離れた、山間や、離村から歩いて集まってきます。パンダン市近郊は、日本の30年から昔を想像して頂くとよい位、田舎の美しい環境のなかにあります。そんな中に、生活している大多数の人々にとって、食料はまかなえる事は出来ませんが、現金収入が無いようです。フィリピンでは、医療費が高く(民間医療)、安い公共医療は設備が整っていません。3日間で2000人以上の患者さんが来所されました。暑い中集まってこられた患者さんに、親切に、医療を行っているこの奉仕活動に感動いたしました。思い切って参加して、本当に良かったと思います。

二人の参加者の意見を参考に、次年度もより大きな奉仕活動にしてゆく方針ですので、地区におかれましても、ご協力の程よろしく申し上げます。